

平成6年第4回定例会(第1日)12月9日議案質疑

鈴木和夫議員 議案第43号の一般会計補正予算につきまして何点か質問をしたかったんですが、大変時間も経過しておりますので、1点だけお尋ねしたいと思います。

議案書の63ページの5.の友好都市交流事業費についてでございます。64ページのローガン市友好団受入経費232万5,000円についてでございますが、これは、先だつての新聞報道にもありましたように、オーストラリア、クイーンズランド州ローガン市との姉妹都市が今まで進めてこられまして、いよいよ来年3月にローガンのロッド・ゴレッジ市長が枚方市にお見えになりまして、枚方市で両市の友好都市の調印をなさるといこういう経費でございますが、特に、今まで2年間にわたりまして枚方市が国際交流のもとでいろいろな御努力をなさってこられまして、このような結果になったことにつきましては、大変敬意を表するものでございます。そのときにお聞きいたしましたのが、10月に橋本助役や今市議長などが友好団といたしましてローガン市に行かれまして、そのときのお話をお聞きいたしますと、ローガン市の市役所の前のメインストリートでローガンの市民パレードがありました。そのクライマックスのときに枚方市との友好の覚書の調印をなさったということで大変ローガン市の市民の方々も大きな反響を呼んだということがあります。今回、ローガン市の市長さんがお見えになるわけでございますけれども、その受け入れにつきまして、どのような形になさるのか、そのことについてお尋ねいたしたいと思います。

三木一雄生活文化部長 ただいま友好都市を目指しておりますローガン市の市長等がお見えになる受け入れのことについて御質問いただきました。お答えを申し上げたいというふうに思います。

ローガン市には去る10月に橋本助役を団長といたしましてまいりました。そのときの状況は、各派代表者会議等にも御報告いたしましたとおりでございます。一口に言いますならば、非常に心温まる歓迎をしていただいた。このことが枚方市に対しての非常に強い厚い思いを持っておられるということをつぶさに感じたわけでございます。したがって、この来年3月にお見えになるローガン市のロッド・ゴレッジ市長以下の受け入れにつきましては、やはり基本的には、我々に示していただいたローガン市側の思いをやはりこの場合返す必要があるんじゃないか。基本的にはそのように考えております。国際儀礼上のこともございまして、今後十分対応してまいりたいというふうに思います。ただ、御承知のように、この3月にということになるとあと3カ月余りでございます。準備にこの期間が残りございませんので、基本的に余り大がかりな事業というのは不可能ではないかと、このように考えておりますけれども、しかし、先ほども申し上げましたように、来ていただく以上、枚方に行つてよかったなというふうに思っただけのようなイベントをひとつ考えていきたいと、このように考えておりますので、よろしく願います。

鈴木和夫議員 再度の質問でございますけれども、交流につきましては、ローガン市そのものが大変な思いで、熱意で携われたということでございますし、枚方市につきましても、時間の関係もでございますけれども、提案でございますけれども、例えばローガンの場合は、市民の方が総出でという印象も受けましたけれども、枚方市も枚方市の市民の方々がローガンと友好都市を結ぶことによって大変喜んでもらえるような、そういうようなイメージのイベントといえますか、また、もう1つは提案でございますけれども、よく国際交流等を行いますときに、枚方市の地名に友好都市の都市名を入れるというのもよくやる方策でございまして、例えば枚方の駅前の枚方市駅から市役所までの前の道が愛称道路でふれあい通りという名前が付いておりますけれども、例えばこの道路を別名ローガン道路とか、こういう形にすれば決して時間もかかりませんし、そういった形でお互いの交流が深まるような方策を考えられないのか、再度お尋ねいたしたいと思います。

橋本巧助役 再度、ローガン市の友好団受け入れの経費を今回お願いしてるわけでございますが、これに関連いたしまして御質問賜り、一定担当部長の方から御回答申し上げましたが、一応3月にゴレッジ市長が見えるということでございますけれども、これに対する準備、計画、これからするところでございますが、大阪府の中でもオーストラリアと友好都市を結んでいる先輩の市が4市か5市あるんですが、そういった地域とも聞き、また先ほど部長申し上げましたように国際儀礼に恥じないような受け入れを考えております。この受け入れにつきましても、やはり市民、また市議会、行政、こういった3者が一体となつていろいろ計画の理解もしていただき、

華やかな受け入れもよろしいですけれども、心温まる質素な受け入れというものも十分喜んでいただけると。非常に人間性のあるオーストラリアの空気をわずか2日、3日の間でしたが我々も受け止めてきましたので、これが英語圏でも一番、ローガン市ということでオーストラリアの人が非常によかったなというふうに我々も感じておりますし、しかし、何といいましても、国際儀礼というものに恥じるようなことはできませんけれども、与えられた200万円の経費の中でひとつ趣旨を凝らして英知を絞ってひとつ受け入れの計画をしたいと思っております。また、地名の形で今御指摘最後にされましたが、私ども行った場合、向こうの市長さんは枚方市と友好都市を結ぶことができましたら、オーストラリアローガン市非常に土地が広いので、ローガン市の公園の一部といっても相当広い面積、現地図を見せていただきました。ここへ枚方市の友好記念して日本庭園をぜひとも造りたい。これは帰られましたら、各議員さんにもまた申し上げてください、こういったことのやり取りもございまして、初めてでございますので、これから友好の輪がだんだん結ばれて、太くなるにつれて議員御指摘、また御心配をさせていただいておるわけでございますけれども、枚方市と友好都市を結んでよかったなというふうにローガンが、市民の方が言っていただけるような受け入れ体制を重ねていきたい、かように思っておりますので、ひとつよろしく御理解賜りたいと思います。